

保護センター展示室大改装中

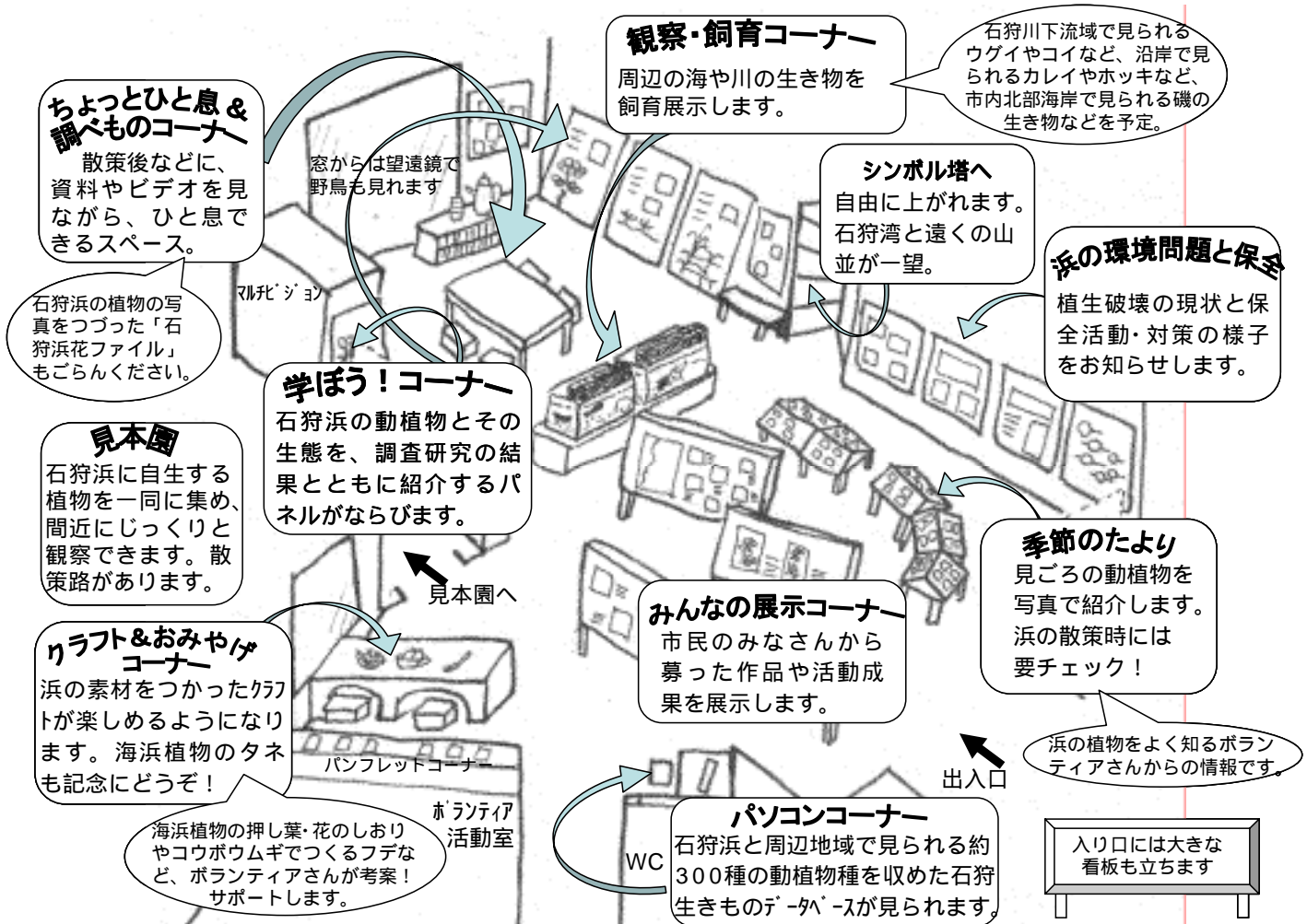
新年度オープンに向けて、展示室をリニューアルしています。石狩浜の自然や保護活動の紹介に加え、クラフトコーナーや周辺の生き物の水槽設置など、親子で楽しめるコーナーを設けます。また、市民のみなさんによる、石狩浜に関係する作品や活動成果を展示できるようになりますので、発表、PRの場としても、ぜひご利用下さい。応募の詳細は4ページに。



見本園側から見た保護センター

左の塔がシンボル塔。中央が展示室。右は温室。

このようなコーナーができる予定です



行事・講座への参加申込・お問合せ、通信・刊行物に関するご意見、お問合せ等は、下記まで。

開館時(4/29～11/3)：〒061-3372 石狩市弁天町 48-1 tel.0133(60)6107 fax.0133(60)6146

閉館時(11/4～4/28)：〒061-3292 石狩市花川北 6条 1丁目 30-2 tel.0133(72)3240 fax.0133(75)2275

email. ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP : <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>

冬の石狩浜へ行ってみよう

荒波、強風、吹雪。閉ざされたイメージの強い冬の石狩浜ですが、毎日がこんなに厳しい天候ではありません。

晴れた穏やかな日には、石狩浜へ足を運んでみませんか。一面の白銀の原野が広がります。よく見ると、動物たちの足跡が点々と。石狩川も凍り、運が良ければ氷上にはオオワシやオジロワシを見つけることも。長距離を歩くなら、かんじき、歩くスキーがあれば安心です。



日本海と背後の手稲山山系



真っ青な空と白銀の原野に、石狩灯台が映えます



ノネズミ（エゾヤネズミ）の足跡
（保護センター入り口付近で）



キタキツネの足跡(灯台付近で)



エゾキウサギの足跡（マクパツ湿原で）



雪の下にトンネルを掘っています。アキグミの樹皮などを食べています



ノネズミや浜に流れ着いた動物の遺がいなどを捜して雪上を歩き回っています。



木の芽や皮を食べています。保護色で、キツネや猛禽類などから見つけにくくしています。

全国海岸植物群落調査～石狩海岸調査速報～

昨今、急速に失われつつある自然海岸の植物群落の生育実態を把握するため、日本自然保護協会(通称NACS-J)は、全国海岸植物群落調査を行っています。その一環として、石狩地域で活動する自然観察指導員の方が、市内の海岸調査に取り組みました。調査メンバーの一人、林迪子さんからの結果の速報です。

厚田浜益と合併したことから、石狩市は80kmにおよぶ海岸線を持つことになりました。厚田浜益方面の海岸は、石狩川河口の左右に広がる砂浜とは違い、切り立った崖が続いています。その崖を^{うが}って、10数本の川が海へ注ぎ、大小の磯浜をつくっています。

調査参加者は、石狩市、当別町、札幌市北区の自然観察指導員7名。6～9月の8日間(6/25、7/10、7/24、7/27、7/28、8/8、8/23、9/27)に、北は浜益区^{ちよしべつ}千代志別、南は石狩浜までの13箇所を調査しました。

多くの磯浜では、潮風が吹きつける厳しい環境のためか、海浜特有の植物群落は面積、種類とも大規模なものは見られませんでした。一方、場所によっては、岩の間から^{にじ}しみ出す水や磯の間に^{もぐ}り込んだ川の流れによって、多様な植物が繁茂していたり、捨てられた野菜によるものか、トマト、^なら、^かぶ^ななどが生育している箇所があったり、数年前には見られなかった帰化植物が大きく成長しているなど、各種の条件の違いによ

って、植生は異なった姿を見せていました。

調査地は、美しい景観を見せる海浜ですが、枯れた海草やペットボトルなどが漂着し、所によっては、大型家電の残骸もあって、海浜植生の多様性と景観を保存するにはどうすればよいか、考えさせられました。

(自然観察指導員 林迪子)

結果の詳細については、センターで展示予定。



エゾヒナノウスツボ(ゴマハグサ科)

高さ 50 ~ 100cm。花は赤褐色。実は海水に浮く。茎は四稜形。

調査地で見られたおもな植物

(写真：自然観察指導員 与那覇さん)



ハマツメクサ(ゲンシ科)

茎は高さ 5 ~ 25cm。地ぎわで密に枝を分けて地表に広がる。花は白色で径 6mm 程。



ハマハコベ(ゲンシ科)

砂地を横走る多年草。茎は長さ 30 ~ 40 cm。葉は肉質。花は白色で径 8 ~ 10mm。



ハマベンケイソウ(ムササビ科)

茎や葉は粉白緑色。葉は厚く肉質。花は青紫色。

2006 年夏 ~ 秋の活動報告

企画講座「聚富・望来の自然を学ぶ」

9月9日(土)参加者 11 名 石狩砂丘北端の望来海岸段丘、無煙浜、シップ海岸草原の植生と地質について学びました。

定です。センターでは結果を展示、報告していきます。

定期観察 4 月から 10 月まで、植物の開花状況や野鳥の観察状況を記録する調査に、延べ 88 名のボランティアさんが参加しました。

子ども自然教室

9月23日(土) 参加者 23 名 秋の実りを使ったクラフト遊びに加え、今年度はハマナスのジャム作りに挑戦しました。



できたジャムをクッキーにのせて味見

石狩浜海浜植生モニタリング調査 9 月、市民調査員 4 名と、海岸草原の植生調査に取り組みました。平成 14 年に行った調査区と同じ箇所、おもにハマナス、スギ、加ガヤの被度の変化を調べました。このモニタリング調査は、4,5 年ごとに行います。

石狩灯台周辺外来植物除去作業

10 月 16 日(月) 参加者 19 名 はまなすの丘の景観を保つため灯台周辺で増えているヒメアザミなど外来植物やスギの除去作業に、石狩市緑化推進協議会、石狩浜夢の木プロジェクトのメンバーらが取り組みました。

海岸砂丘の裸地分布状況調査

四輪駆動車、サドルバイク、オフロードバイクの走行により破壊された砂丘植生および地形の状態を、10 月、現地踏査により調べました。その結果、自然回復不可能と思われる裸地は 40 箇所以上ありました。昨年夏にはほぼ全域に車乗り入れ防止柵を設置しましたが、ロープを切るなどして砂丘を走り回る車は後を絶ちません。ここが全国有数の海浜植物の群生地として重要な場所であることを理解してもらうよう、啓発に努めます。

海浜性キノコの生育状況調査 北方菌類フォーラム(NPO)の竹橋さんが中心になって、海浜性キノコの調査に計 31 回取り組み、アガリマツホシノケ、ガマホウの仲間など希少種を含む、15 属約 50 種のキノコが観察されました。来年度も、さらに詳細な調査に取り組む予

八幡小学校総合学習

8月から10月まで計4回、石狩市立八幡小学校4年生33名が、当センターの学習プログラム「石狩浜学習のすすめ」に従い、石狩浜の自然と保全について学習し、理解を深めました。

「センターの今後について」説明会開催

12月5日(火)、石狩市の事務事業の見直しにともなう当センターの今後の事業運営のあり方について、集まった16名のボランティアさんへ説明会を開きました。今後も説明会を重ね、センターの今後について一緒に考えて行きます。

保護センター展示リニューアル&作品募集

当センターは、アホウウツの乱採やレジャー車両走行の踏み付けから海浜植物を市と市民の協働で保護していくための活動拠点として、平成12年4月にオープンしました。今年で8年目を迎えるにあたり、市民活動の拠点として一層の機能の充実を図るため、展示室内部の模様替えと展示内容をリニューアルしています。

石狩浜の自然状況や保全対策についてよりわかりやすく紹介し、新たに、親子で楽しめる石狩浜の素材を使ったクイズコーナーや、周辺の海・川の生き物の水槽での展示、気軽に動植物等の調べものをしたり、お茶を飲みながらくつろげるスペースを設けます。また、移動式パネルを増やして、情報の受発信機能を高めます。さらには、石狩浜に関するみなさんの作品を展示したり、ボランティアさんの活動紹介コーナーも設けます。ぜひご利用ください。

石狩浜の自然・人・生活に関する作品やパネルを募集します

市民のみなさんから、「石狩浜」に関係した作品やパネルを次のとおり募集します。発表やPRの場としてご利用ください。センターまでお気軽に応募、お問合せ下さい。

対象テーマ：石狩浜に関係するものであれば、自然に限らず、人、生活、漁業などに関するもの何でも可。

展示形式：写真、絵、ポスターなど自由。製作物、標本など、机に置いて展示するものも可。

展示スペース：180cm x 90cm 移動式パネル1面~6面

募集対象：個人、団体、子ども~大人どなたでも。石狩市外在住の方でもOK。

展示期間：原則一ヶ月間(希望者多数の場合は短縮)

応募は随時受け付けます。

行事・講習会予定

冬季研修会 Part1 石狩浜の海岸林

石狩の海岸林は、大規模に残る自然林として全国的にも大変重要なものです。ここでの継続的な樹木調査の結果をふまえ、石狩海岸林および道内の海岸林の特徴や現状などについてお話しします。

日時：2月23日(金) 13:30~15:30

講師：真坂一彦さん(北海道立林業試験場研究員)

冬季研修会 Part2 石狩の外来動植物

外来種とは、日本に生息生育していなかったものが、今では元々いたかのように繁殖し生活している生物種のことをいいます。私たちの身の回りにもたくさんの外来動植物が見られます。これらはどのような種類で、どのようにして増えたのか、在来生物との関係は?などについて、お話しします。

日時：3月10日(土) 10:00~12:00

講師：斉藤和範さん(道立旭川高等看護学院非常勤講師(自然環境学担当) 日本生態学会外来種問題検討作業部会 検討委員外来生物部門 検討委員)

冬季研修会共通して

会場：花川北コミュニティセンター会議室C 対象：一般
定員：なし 参加費：なし 申し込み：2日前まで
申し込み先：石狩市環境課(tel.0133-72-3240)

石狩浜自然ガイド育成講習会 2007(予告)

今年度に引き続き新年度も、石狩浜で自然案内や自然調査、センターでの情報発信などの活動に取り組む人材を育成する講座「石狩浜自然ガイド育成講習会」が5月からスタートします。石狩浜の自然に関する入門からレベルアップまで、7回程度にわたって開催します。まずは勉強したい!という方から、石狩浜の自然を守る活動をしたい!という方、ボランティアでガイドをしたい!という方まで、幅広く受講できます。

*日程等の詳細は次号(4月上旬発行予定)で。

寄贈のお礼

- ・北海道自然観察協議会様よりカラープリンター
 - ・石狩市緑化推進協議会会長阿部義孝様より多数の野草関係書籍
- このほか、多くの方より資料、写真を提供いただきました。